



〒470-0162  
愛知県愛知郡東郷町春木白土1-242

株式会社喜多村  
営業部 ニュースレター係

## 第50期事業発展計画発表会 を行いました！ (Web開催)



2021年5月、喜多村は50期を迎えることができました。これも皆様のご厚情のおかげだと考えており、深く感謝申し上げます。

さて、新たな期を迎えたことで今年も事業発展計画発表会を行いました。事業発展計画発表会は社長自らが今期中長期的な方針を発表する場です。新型コロナウイルス感染防止のため、49期に続き今年もWeb参加での開催となりました。例年の様に一つの会場に全社員が集まることは叶いませんでしたが、Zoomを利用して、出勤者は会議室、在宅者は各自のパソコン、スマホを用いて全社員同時参加で実施しました。

新型コロナウイルスやPF0A問題、約10年前にはリーマンショックなど、50年間で様々なことが喜多村に降りかかりましたが、喜多村はその時代の変化に対応して生き残ってきました。変化に対応していくことは喜多村内で強く意識している心がけであり、それはこれからも変わらなく、全社一丸となって進化を図り、事業繁栄の道を実践にすることが発表されました。弊社はこれからも進化し、お客様のお力になれるよう努めますので、今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 俺たちのKAIZEN活動 紹介

弊社では「俺たちのKAIZEN活動」と称し、いわゆるQC小集団活動をしております。チームごとにテーマを決め1年間活動し、年度末にその成果を発表しております。

受託粉砕営業を担当している営業2課では以下をテーマに活動致しました。

### 「試作サービスのさらなる充実」

テーマ  
の背景

コロナ影響で皆様の元へ訪問できず、  
今まで行っていた訪問面談での試作結果報告ができない…



課題

**訪問説明以上の試作結果報告 & 次回試作提案を行う必要あり！**

課題達成のために部門間の情報共有をより正確にし、  
それを皆様へ伝える方法を模索しました。



改善内容

Microsoft Teamsの有効利用、試作依頼についての書類見直し  
試作案件会議の開催 など



結果

お客様へ試作情報をよりタイムリーにご連絡ができるようになりました。試作状況に合わせ、試作目標の軌道修正をすることも以前より、容易になりました。課題達成としては**試作結果報告 & 次回試作提案**の内容を盛り込んだ報告書を必要に応じて提出。また、メール、電話、Web面談での補足説明を行うことで、訪問面談以上の情報提供とご提案ができるようになりました！！



本テーマは今後会社全体で取り組むべき課題であり、より早く正確な情報をお届けできるようなシステム化が急務であると認識しました。皆様に更なるご満足をいただけるよう、今期、必ずやり遂げます！！



代表取締役 北村 眞行

# 祝 喜多村50周年～設立から今に残ること～

お客様皆様のご愛顧のおかげで株式会社喜多村は創立50年を迎えました。

喜多村はこれからも  
成長していきます

創立時の社員は46名  
今の1/4以下のメンバーからスタート  
フッ素樹脂(KT、KTLシリーズ)は  
弊社創立からの柱です。

21年前の社長(北村)が  
隠れています。



ガム旅行

2000年  
ISO9002(現:ISO9001統合)  
全社にて取得  
記念でガム旅行

1997年  
社長 北村 眞行入社

1987年  
食品添加物製造許可取得

1985年  
名古屋工場(現本社工場)の主力  
事業を受託粉碎へ移行

当時の本社工場は飼料の製造をしておりました。  
フッ素樹脂加工技術を活かし、受託粉碎へ応用しました。



事業発展計画発表会

2009年  
ニューズレター創刊

2006年  
北村 眞行 社長就任  
愛知ブランド取得

2005年  
ISO14001、OHSAS18001(現:ISO45000)  
認証取得  
本社第2工場(クリーンルーム)完成



2014年  
砕きの喜多さん誕生  
マスコットキャラに



現在の本社工場

2013年  
俺たちの改善発表会開始

2008年  
事業発展計画発表会  
毎年開催(第37期～)



現在の古川工場



本社第二工場クリーンルーム

受託粉碎担当営業  
営業部営業2課 入社  
豊島(2004)  
稲嶺(2010)  
市橋、東野(2012)  
後藤(2018)

設立当時の古川工場

1972年5月1日  
初代社長 北村 勝政  
株式会社喜多村を設立  
同年 9月古川工場開設  
フッ素樹脂KT、KTL  
製造販売開始